



伊賀市立壬生野小学校
2024年4月16日
発行責任者 藪中 俊典

今回は、連絡が中心の内容です。ご協力よろしくお願ひします。

壬生野小学校のホームページもご覧ください。

昨年度から、伊賀市内の小中学校のホームページがリニューアルされ、統一したのになりました。本校のページは、グリーンを基調とし、トップページの写真も大きくなりました。



学校や学級からのたよりなども、スマート連絡帳に掲載させていただくようにしましたので、重複しての内容も多いですが、時々、見ていただけると嬉しいです。壬生野小学校で検索すると、ホームページに誘導してくれますので、一度、検索を試みてください。

壬生野小学校の URL <https://school.iga.ed.jp/mibunoe/>

「継続は力なり」

校長忍者からの挑戦状～その参～



今年も壬生野小学校に「まなびん」忍者が登場しました。週1回(できれば金曜日に)、3年生から6年生の子どもたちには、忍者から「挑戦状」という宿題が届くことになります。3年生には6月頃から届くようになります。学級の宿題とは別です。「挑戦状」の名前は、「まなびん」で、国語や算数などのプリントを渡すことにします。使用するプリントは、主に、三重県の教育委員会が作成した学力向上のためのプリントで、三重県内の小中学生がそれらを用いて学習をしています。本校でも、各学級で、朝の学習や授業、また宿題等で活用してきているものです。金曜日に渡す理由は、休みの日にも、家で勉強する習慣を身につけてほしいという願ひからです。

伊賀市の教育長さんからは、「同じ問題でよいので、できなかった問題をできるようになるまで、繰り返し練習させることが必要」と言われていて、まずは、自分なりの答えを書くことが目標となります。そのため、時には、模範となる答えを書き写すことを出すこともあります。「学ぶことは真似ることから始まる」と言われている人もいます。そうしたことを繰り返し行うことで、「できるようになった」という自信が生まれ、それが次の学習への意欲につながるとお願ひしています。

ご家庭での励ましの声かけをお願ひします。

「正門・西門まで」「正門・西門から」は、必ず保護者の方が付き添ってください。

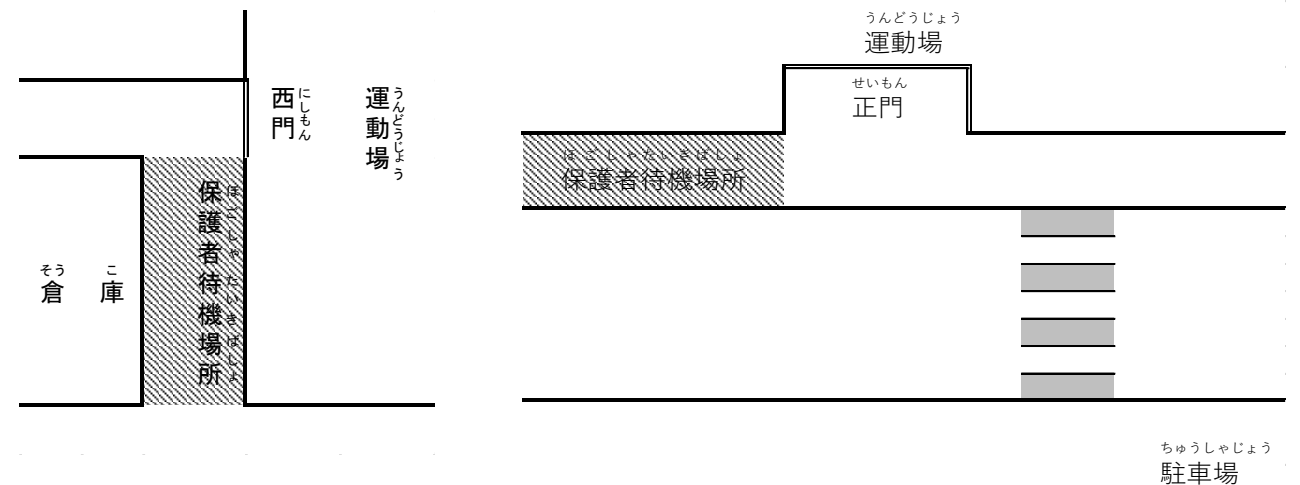
壬生野小学校では、通学団による徒歩での通学を基本としていますが、数年前から、かなりその基本が崩れてきています。そのため、特に、下校時は、一人で下校することになってしまいうケースも多く、そのことが心配で、さらに自家用車での送迎が増えるといった「悪循環」が見られます。

地域の方からも、「どうしてあんなにも車での送迎が多いのか。」「車での送迎について、学校としてどう考えているのか。」という声もいただいています。また、「横断歩道を子どもだけで渡っているのは大変危ない。保護者が付き添うべきではないのか。」といった声もいただいています。

学校としては、すべての子どもが安全に登下校できるよう、保護者の方との合意の上で、地域ごとに「通学団」を組織し、「徒歩での通学」を基本としてきた経緯を、再度、保護者の方にもしっかりと認識していただかなければいけないと思っています。

また、正門・西門までは保護者の責任であることはこれまでもお伝えしてきています。ですから、都合で、自家用車による送迎をせざるを得ない時にも、学年関係なく、登下校とも、横断歩道を渡る際には、必ず保護者の方が付き添って渡らせていただくことになっています。しかし、その点についても、最近では、守っていただけていないご家庭があります。今一度、ご確認、ご協力をお願いします。

ただし、下校時に門の前に保護者の方がたくさんおられると下校の妨げになりますので、お迎えの保護者の方は、下の地図の「保護者待機場所」(正門の西側、西門の南側)で待つようにしてください。ご協力をお願いします。



家庭訪問の日時をご確認ください。

お仕事等の都合をつけていただきやすいように、本年度の家庭訪問の日時は、既に3月中に連絡をさせていただいていますが、ご確認いただいているでしょうか。もし、家庭訪問の日時が不明な方がおられましたら、担任までご確認ください。

なお、既に、各ご家庭の予定を聞かせていただいた上で組ませていただいた日程ですので、再度の変更がないようご協力よろしくお願ひします。

